

研究課題名	術後悪心嘔吐に対するオンダンセトロンの効果
研究期間	実施許可日 ~ 2030年3月31日
研究の対象	2019年4月から2022年3月の間に、広島大学病院で腹部手術を受け、術後に外科系集中治療室（SICU）に入室した患者さん。
研究の目的・方法	<p>研究目的：術後の吐き気は一般的な外科手術の約30%の患者さんが体験するといわれています。この吐き気に対し、様々な制吐剤を使用して抑えようとしています。近年、オンダンセトロンという制吐剤が保険適応となりました。オンダンセトロンの効果に関しては、手術中に投与することで術後の吐き気を抑制するといわれています。今回の研究の目的は、手術当日並びに手術翌日にもオンダンセトロンを投与した手術翌日の吐き気の発生頻度を調査し、また、オンダンセトロンが保険適用される前に腹部手術を受け、オンダンセトロン以外の制吐剤（主にメトクロプラミド）を使用した症例と比較検討することによって、オンダンセトロンの効果を検証することです。</p> <p>研究の方法：本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います</p>
研究に用いる試料・情報の種類	カルテから使用する内容は身長、体重、BMI、年齢、性別、ASA、麻酔記録、周術期使用薬剤、SICU滞在時の診療録・経時記録、吐き気の発生状況、制吐薬の使用状況、その他の使用薬剤、その他の合併症です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
外部への試料・情報の提供	本学単独研究のため外部へ提供することはありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2022年9月21日）
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものかわからないようにします。個人と連結させるための対応表は、研究責任者監督のもと、保管・管理します。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫</p>
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを

結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独自性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 麻酔科

担当者：講師 加藤貴大

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5267